

# 岐阜工業高等専門学校が 道路老朽化について学習しました

岐阜工業高等専門学校の学生が道路の老朽化の現状についての講義を受けました。資料説明を受けた後、講師との質疑応答を通じて道路管理に関する理解やメンテナンスの重要性への認識を深めました。

この講義により、将来の進路選択の際の一助になることを期待します。

◆ 日時：令和2年11月18日（水） 15:00～16:30

◆ 場所：岐阜工業高等専門学校

◆ 参加者：岐阜工業高等専門学校 生徒 40名

（その他 岐阜国道事務所職員、中央コンサルタンツ-R2 岐阜県道路保全支援業務）



室内講義の実施状況



講義を受ける様子

**(1)道路管理における「対 構造物」の視点**

・中央自動車道 笹子トンネル天井板落下事故

発生日付：平成24年12月2日  
発生場所：笹子トンネル（山梨県）

- 昭和50年竣工、全長上り線：4784m 下り線：4717m
- 上りトンネル、大月市側出口より約1,700m付近
- 天井板が突然崩落し、9名が犠牲となった
- 原因はアンカー材の施工不良、劣化等
- この事故の発生を受けて、道路建設の緊急点検が実施され、メンテナンスの重要性が再認識された

12/2 12:00撮影

12/3 8:30撮影 天井板撤去状況

資料：岐阜県道庁・岐阜県警察本部・国土交通省 資料：国土交通省 14

**(4)構造物に対する点検**

・打音検査

・触診

補修材（繊維シートや鋼板接着工等）やトンネル内附属物等の取付状態等については、トンネル点検車等により点検対象物に接近し、直接手で触れて固定状況や損傷の有無を確認する。

15

講師の質疑の要点

1. 道路の老朽化はどのような状態から始まるのか？

2. 道路の老朽化を防ぐためにはどのような対策が必要なのか？

3. 道路の老朽化を防ぐためにはどのような設備が必要なのか？

4. 道路の老朽化を防ぐためにはどのような人材が必要なのか？

5. 道路の老朽化を防ぐためにはどのような教育が必要なのか？

以上

講義の説明資料

配布資料

# 橋梁補修セミナーを開催しました

本セミナーは、自治体が橋梁補修を検討する際に必要となる基礎知識の習得を目的として開催しました。橋梁における損傷の種類や劣化原因、補修工法の選定および留意点について、鋼橋とコンクリート橋それぞれの専門家による講義と質疑応答を通じて橋梁補修に関する理解を深めました。あわせて、岐阜県が取りまとめた点検支援技術活用の手引き（案）の解説を行いました。

- ◆ 日時：令和3年2月19日（金） 13：30～
- ◆ 場所：Web 会議形式
- ◆ 参加者：岐阜県 16 自治体

（その他 （一社）日本橋梁建設協会（講師）、（一社）プレストレスト・コンクリート建設業協会（講師）、岐阜国道事務所職員、岐阜県職員、中央コンサルタンツ-R2 岐阜県道路保全支援業務）

## § 1. コンクリート構造物の変状要因

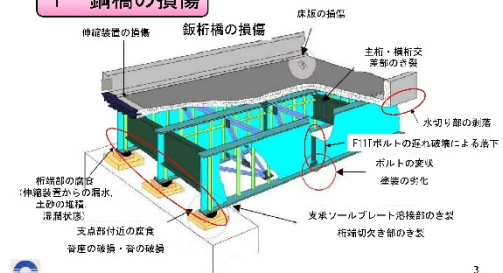
### 1.1 コンクリート構造物の主な劣化機構

- (1) 中性化
- (2) 塩害
- (3) 凍害
- (4) アルカリ骨材反応
- (5) 疲労

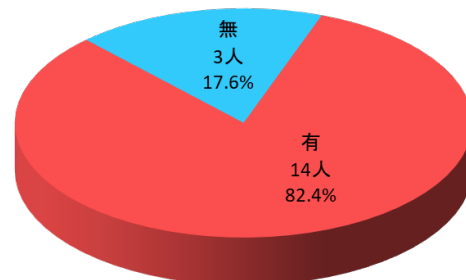


（出典 中部地方整備局 道路の老朽化対策冊子より）

## 1 鋼橋の損傷



## 岐阜県点検支援技術活用の手引き(案)について



次回セミナーへの参加意向についてのアンケート